

1 運営の重点

- 目的を同じくする生徒が自主的、自発的に参加し、スポーツや文化に親しむ活動を通して、豊かな感性や健やかでたくましい身体を育成する。
- 計画的な活動を心がけ、異年齢集団の中で好ましい人間関係や上下関係を育てていく。また、礼儀作法を学び、心を鍛える場と考え指導していく。
- 大会・発表会等の目的意識を持たせ、活動の喜びや楽しさを味わわせると共に、厳しさをチームワークの大切さを体験し、粘り強く取り組む精神を育む。
- 原則 3 年間、同じ部活動を継続して活動するように呼びかける。みだりに転部や退部のないように、1 年生の入部時に丁寧に指導をする。

2 具体的な実践事項

- 大会やコンクール等の出場を目指して、効果的な練習に取り組みせ、それをやり抜かせることにより目標達成に努める。
- 限られた時間の中で活動を工夫し、各部の活動の充実、強化を図る。
- 部会、部長会、顧問者会を必要に応じて実施する。また、部費支出状況を点検し、部活動の円滑な運営を推進する。
- 部室や活動場所を常に整理し、用具を大切に扱うことにより、礼儀正しさを身に付けさせる。
- 部活動の方針を正しく理解してもらうため、家庭との連絡を密にする。

3 部活動規定

- ①指導は原則として顧問教師が行う。学校長の許可を得て、外部指導者を迎えることができる。
- ②朝・昼練習は禁止する。また、生徒の健康と安全を考慮して終了時間を以下のように定める。

<平日の部活動終了時刻と完全下校時刻>

	4月	5~7	9月前	9月後	10月前	10月後	11月	12月	1月	2月前	2月後	3月
終了	17:45	18:15	17:45	17:15	17:00	16:45	16:30	16:15	16:30	16:45	17:00	17:15
下校	18:00	18:30	18:00	17:30	17:15	17:00	16:45	16:30	16:45	17:00	17:15	17:30

- ③定期テスト 3 日前からテスト休みとし、活動は行わない。週 1 回は部活を休みにする。原則として水曜日の部活動はなしとする。
- ④長期休業中の部活動は、負担にならないよう、活動日数や時間を充分配慮すること。
- ⑤校外にて活動したり、大会や練習試合に参加したりする場合には、1 週間前まで『校外生徒引率届け』に必要事項を記入して教頭に提出する。
- ⑥自由加入制ではあるが、原則として 1 年間は変更しない。年度ごとに希望調査を実施する。
- ⑦ 9 月の地域防災訓練、地域体育大会、10 月の地域の祭典、12 月の防災訓練の時は練習や練習試合を控え、地域の活動に参加することを優先する。

4 1 年生正式入部までの日程 (R 3 年度当初の予定)

- 4月 8日 (水) 対面式 (部活動説明会)
- 4月 13日 (月)、14日 (火)、16日 (木) 17日 (金) 部活動見学 (体験)
- 4月 20日 (月) ~ 5月 6日 (水) 仮入部期間
- 5月 1日 (金)、7日 (木) 入部申し込み
- 5月 7日 (木) 1 年生正式入部 (入部届け等は 4 月上旬に配布)

【参考資料 2】

向陽中部活動ガイドライン（抜粋）

ア 活動日

(ア) 平日

・週 4 日以内（原則として水曜日を休養日とする。）

- ・始業前には部活動は実施しない。

(イ) 週休日等

- ・健康面に配慮し、練習試合等は必要最小限にとどめる。
- ・週休日は少なくとも 1 日以上を休養日とする。

（ただし日曜日に大会やコンクール、地域行事が設定されている場合は、保護者理解のもと、けが防止等のため、土曜日に必要最小限の活動を行ってもよい。この場合は平日 2 日間の休養日を設ける。）

(ウ) 長期休業中

・平日は学期中途に準ずる。原則、週 4 日以内

- ・週休日は原則実施しない。ただし、校長が認めた場合はこの限りではない。実施する場合は前後に休養日を設ける。
- ・8 月 11 日から 20 日の 10 日間は原則実施しない。ただし、全国大会等へ出場する場合は、この限りでない。

イ 活動時間

(ア) 平日 ・ 2 時間程度

(イ) 週休日 ・ 3 時間程度（準備片づけを含め 4 時間以内とする）

(ウ) 長期休業中 ・ 勤務時間内（顧問の勤務日） 3 時間程度（週休日と同じ）

- #### (エ) その他
- ・平日週休日、長期休業中問わず、超過した活動日数や時間については、休養日等を他の日に振り替えたり活動時間を短くしたりする。併せて保護者や生徒に説明する。
 - ・週休日や祝日に終日大会参加、練習試合等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。

ウ その他

- #### (ア) 協会主催の各種大会への出場は、精選して出場する。文化部活動においては、参加するコンクールや地域行事、催し等の数の上限の目安等を定める。参加にあたっては、生徒・顧問の健康面や安全面、さらには費用面の負担について配慮する。
- #### (イ) 延長部活動については、校内で決まりを作り常態化を防ぐ。実施可能な時期は、2、3 学期とし、運動部については公式及び協会主催の大会に、文化部活動については、連盟主催のコンクールやコンテスト・公式のコンサートに限定する。
- #### (ウ) 年間の部活動終了時刻と完全下校時刻は、参考資料のとおりとする。

【参考資料3】 児童生徒の発達特性を考慮した完全下校時刻

	該当月	完全下校時刻	日没時刻	
		中学校	1日	15日
平 日	4	18:00	18:10	18:21
	5	<u>18:30</u>	18:33	18:45
	6	<u>18:30</u>	18:57	19:04
	7	<u>18:30</u>	19:06	19:03
	8	16:45	18:52	18:38
	9	18:00	18:17	17:57
		17:30		
	10	17:15	17:34	17:16
		17:00		
	11	16:45	16:56	16:45
	12	16:30	16:38	16:39
	1	16:45	16:49	17:01
	2	17:00	17:17	17:31
		17:15		
3	17:30	17:45	17:57	

※1 日没時刻は、国立天文台天文情報センター暦計算室調べによる。

※2 **9月・10月**及び2月はそれぞれ、前半（1日から15日）を上段に、後半（16日から月末）を下段に表す。